

研究課題名：	新病院移転により SSI は減少するか？
研究機関名 所属（診療科等）：	研究事務局 さいたま赤十字病院 副部長 佐々木 滋 総合研究代表者 さいたま赤十字病院 副部長 佐々木 滋
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 副部長 佐々木 滋
研究期間：	2016年 1月 1日 ～ 2017年 12月 31日
研究の目的と意義：	SSI(Surgical site infection)は外科手術後の最もポピュラーな合併症でありその発生率の減少は患者にとっても医療者にとっても多大な利益がある。ただし、どの因子がSSI発生率に影響を与えるかは定かではない。当院では2017年1月1日から新病棟の新手術室に移転するという経験をした。環境が新しくなるという因子がSSI減少に影響するかどうかを後ろ向きに解析・検証する。
研究内容：	上記期間中に当科で全身麻酔下に手術を施行したすべての患者を対象とする。 研究対象者基本情報として年齢、性別、共存症、既往歴、治療内容、病理学的結果、受診日、転帰、入院中に診療情報として得た生理的情報、血液学的検査情報、画像情報を利用する。 対象患者様より取得した上記診療情報を用いる、介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 外科 氏名：佐々木 滋 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111